

赤ちゃんふれあい教室 (児童ふれあい交流事業) が開催されました

7月30日、保健センターにおいて、次代の親となる中学生を対象に、赤ちゃんとその家族とのふれあいを通して生命の大切さを学ぶ「赤ちゃんふれあい教室」が開催されました。

当日は、10名の中学生が参加し、3～5ヶ月児健診を受診した赤ちゃんを抱っこしたり家族の方と話をしながら、赤ちゃんたちとふれあいました。

参加した中学生たちは赤ちゃんを目の前にすると、自然と優しい笑顔になりました。「笑いかけてくれてうれしかった」「親子愛みたいなものを感じた」などの感想も聞かれ、赤ちゃんのかわいらしさと成長を学びました。

また、自分の幼い頃と重なり母親の子どもに対する思いを感じ、生命の大切さを知る、貴重な体験になりました。



夏の交通事故防止県民 運動が実施されました

7月20日から8月20日までの期間、夏の交通事故防止県民運動が実施されました。

7月22日には、境地区交通安全協会五霞支部、五霞町交通安全母の会、境警察署の協力のもと、元栗橋東京電力変電所前にて、交通安全キャンペーンが実施されました。

当日は、ドライバークラッシュ300名へ交通安全のチラシとうちわを配布し、飲酒運転根絶、後部座席を含むシートベルト・チャイルドシートの着用をドライバーに呼び掛けました。

期間中、境地区交通安全協会五霞支部理事による立哨活動にて、交通ルールの遵守を目的とし、五霞町交通安全母の会理事による広報活動にて、交通安全を呼び掛けました。

また、防災行政無線を使い、五霞東西小学校児童による広報活動を実施し、町内の交通事故防止を広く周知しました。



交通危険箇所確認作業 が実施されました

この時期、枝葉等が道路上に伸び出てしまふ危険となることから、毎年8月第1日曜日に道路の交通安全確保のため、町内全域を対象とした交通危険箇所確認作業を実施しています。

今年も、8月3日に境地区交通安全協会五霞支部が主体となり、両駐在所警察官の協力のもと、交通安全上危険となる箇所やカーブミラー・交通標識等の点検確認を行いました。

道路に面した山林等を所有する方は、今後も定期的な枝葉等の剪定により、交通事故防止にご協力をお願いします。



作業後



作業前

防犯セミナーが開催 されました

7月18日、小手指改善センターにおいて、防犯セミナーが開催され、48名が参加しました。

このセミナーは、社会福祉協議会のボランティア協議会に所属するひまわりグループ(代表 滋野千代子)の主催によるもので、防犯意識が高まり安全・安心のまちづくりができればとセミナーを行いました。

当日は、境警察署生活安全課長 山中警部・元栗橋駐在所 栗島巡査長から、県内の犯罪件数や状況、対策方法についての講演を聞き、参加者からは「具体的な対策を聞くことができて良かった」などと話していました。

